

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	四日市NPOセクター会議	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	3,933,200円	
受託内容	<p>資金を循環させる「市民活動ファンド」、人的資源を循環させる「人材ポケット」、物的資源を循環させる「モノバンク」の3で構成される、官民連携による市民活動への資源循環の仕組みを構築する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①ファンドレイジング交流会等によるファンド原資獲得</p> <p>②不用品・遊休地等の物件登録</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>幅広い分野（県・市、企業、商工団体、地域密着型メディア（ケーブルテレビ、エフエム放送、各戸配布型月刊紙）、自治会、社会福祉協議会、労働組合、NPO、大学）から企画委員会を立ち上げ（名簿別紙参照）、2回の会議において市民活動サポートバンク（SSB）の基本コンセプトについて熱心な討議を行った。この結果「基本コンセプトの市民への広報が第一」との合意に至り、ホームページ、パンフレット、DVDなどの制作を急ぐことになり、それぞれ準備に着手し、作成業者も決定した（作成業者も企画委員会に参加する予定）。また委員でもある地元ケーブルテレビが、準備段階からSSBを積極的に広報していくことになった（2/14放送）。四日市市では、実施中の「まちづくり協働委員会」の平成23年度報告書に、「市民活動サポートバンクの仕組みを検討中」であることが書き込まれた。ファンド原資獲得、不用品等登録の取り組みも始めており、既に原資の一部が確保されたほか、パソコン20台確保などの成果が上がっている。目標とする原資を獲得するためにも、寄付者が税の優遇措置が受けられる体制を整えることが必要であり、認定NPO法人等の体制整備を急ぐ予定であるが、広報媒体の充実と企画委員会での協議により、今後順調に進むことが予想される。</p>	
評価ランク	<p><input type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)</p>	

2. 添付書類 委員名簿

その他参考となる書類

※ 都道府県において適宜設定すること。